浜岡原子力発電所 2 号機 原子炉建屋地下 2 階における 水の漏えいについて(続報)(原因と対策)

2020 年 3 月 2 日

【今回お知らせする内容】

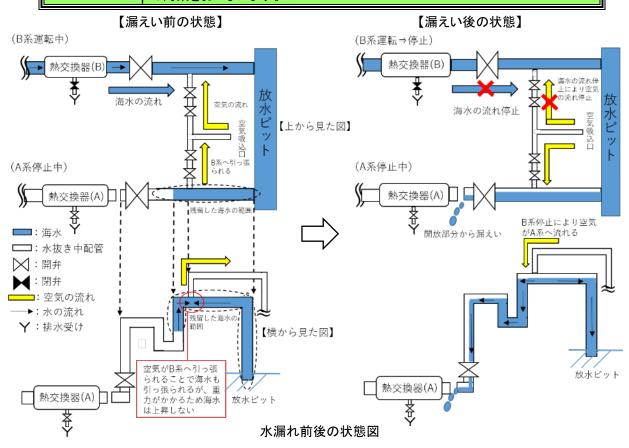
現場確認の結果、点検中の原子炉機器冷却水(注 1)熱交換器(以下、「熱交換器」という。)(A)の出口海水配管より海水が漏えいしたことを確認しました。調査の結果、この漏えいの原因を以下のとおり推定しました。
① 熱交換器(A)の点検のため、熱交換器(A)廻りの海水配管内の排水をしたところ、一部の配管内に海水が残留していた。
海水が残留した原因は、排水の際に空気を吸い込むために設置した空気吸

原因と対策

海水が残留した原因は、排水の際に空気を吸い込むために設置した空気吸込口が(A)系と(B)系で共有しており、さらに熱交換器(B)の海水が通水状態であったことにより、(A)系の空気吸込配管内の空気が(B)系へ引っ張られ、熱交換器(A)の海水配管へ空気が吸い込まれず海水が抜けなかった。

② その後、点検に伴い、熱交換器(B)系海水側の運転を停止したことで、(B) 側への空気の流れがなくなり、空気吸込配管内の空気のバランスが変化し熱交換器(A)に空気が流れたことで開放部に残水が流れた。

今後、熱交換器(A)(B)の海水系で共有していた空気吸込配管を独立する等の対策をおこないます。



注1 原子炉機器冷却水とは、弁等を操作するために空気を供給する設備等に発生する熱の除去を おこなうための系統であり、燃料を全て搬出している 2 号機においては燃料の冷却に使用して いないため、原子力安全に影響を与えるものではありません。

【これまでにお知らせした内容】

(2020年2月13日 お知らせ済み)

発生号機	2号機(廃止措置中) 原子炉機器冷却水熱交換器室(放射線管理区域外)
発生年月日	2020 年 2 月 13 日
状況	2020年2月13日9時49分、2号機中央制御室にて漏えいを示す警報が点灯しました。このため、当社社員が現場確認したところ、原子炉建屋地下2階の原子炉機器冷却水熱交換器室内(放射線管理区域外)で約16㎡の溜まり水(海水)があることを確認しました。現在、水の漏えいは停止しております。 今後、漏えいが発生した原因を調査し、適切に対応してまいります。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき(但し、100 リットル程度に至らない漏えいを除く)。」に該当します。

以上